

日本海洋学会創立 80 周年記念シンポジウム

－日本の海洋学の今とこれから－

主 催：日本海洋学会
コンビナー：日本海洋学会幹事会
日 時：2021 年 9 月 13 日（月）13：00－16：45
場 所：オンライン

<開催趣旨>

日本海洋学会は 1941 年に設立され、今年で 80 周年を迎えます。本学会は、海洋学の進歩普及を図ることを目的として、研究集会の開催、学術刊行物の発行、研究業績への顕彰などを行ってきました。2011 年 3 月に発生した東日本大震災は、社会に対する学会のあり方を根底から考える契機となり、その後多くの活動が行われました。2019 年に発生した新型コロナウイルス感染症の危機が続く中で、学会活動の様式は大きく変化し、新しい研究・教育のかたちが模索されています。そのような中 2021 年より開始された国連海洋科学の 10 年（UN Decade of Ocean Science for Sustainable Development）では、世界中の研究機関・科学者の連携による、海洋科学の挑戦的な取り組みが期待されています。

今回のシンポジウムでは、過去 10 年間の海洋学と本学会の歩みを振り返るとともに、これからの 10 年間の方向性を示すための 2 つのセッションを通じて、幅広い世代、研究分野の研究者による対話の機会を設けました。学会の歴史は日本の海洋学の歴史でもあります。このシンポジウムが、海洋学と本学会の進歩発展に大きく貢献する一助になれば幸いです。

プログラム

	司会 乙坂 重嘉（東京大学 / 幹事）
13:00 – 13:10 開会挨拶	神田 穰太（東京海洋大学 / 会長）
13:10 – 13:20 学会 10 年間の歩みの紹介	梅澤 有（東京大学 / 幹事）

13:25 – 15:25 セッション 1「海洋学の 10 年展望」

研究に関する将来構想ワーキンググループ

日本海洋学会では 2020 年度、将来構想委員会の下に本ワーキンググループを立ち上げ、2012 年度以来となる、研究の将来構想をまとめました。将来構想は、【極域、中緯度、熱帯域、沿岸域、深層、大気海洋境界】の 6 つの海域別グループ、および「新たな手法と問題」グループの計 7 グループに分かれて行い、まとめた結果を「海の研究」に、それぞれ総説論文として投稿しました。本セッションではその概要を紹介するとともに、海洋学の今後の展

望について議論を行います。

15:25 – 15:30 (休憩)

15:30 – 16:40 セッション2 「これからの海洋学会のあるべき姿」

関連の深い学協会の代表者をお招きし、日本海洋学会が果たすべき役割について、各学協会からの期待も含め、意見交換を行います。特に、将来構想ワーキンググループからの意見を踏まえた上で、国連海洋科学の10年へどのように貢献していくべきか、議論を深めます。

(招聘予定、50音順、敬称略)

- | | |
|--------------------|-----------|
| ・沿岸環境関連学会連絡協議会 | 代表 今井 一郎 |
| ・水産・海洋科学研究連絡協議会 | 議長 古谷 研 |
| ・一般社団法人 水産海洋学会 | 副会長 米崎 史郎 |
| ・公益社団法人 日本水産学会 | 会長 金子 豊二 |
| ・公益社団法人 日本地球惑星科学連合 | 会長 田近 英一 |
| ・日本プランクトン学会 | 会長 伴 修平 |
| ・日本ベントス学会 | 会長 大越 和加 |

16:40 閉会挨拶

伊藤 進一 (東京大学 / 副会長)